

経営・ビジネスの課題解決メディア「経営プロ」

Twitter Facebook Home ログイン | マイページ

経営課題を解く
経営プロ

サービス セミナー 資料・事例 ニュース 連載・コラム 掲載企業 特集

キーワードで検索

対象から探す 課題を解く
経営全般 | 組織・人材 | 財務・資金 | 営業・マーケティング | サービス・商品開発 | IT・技術 | グローバル

連載「チーム一丸」 > ダイバーシティ経営の基本・課題・副作用 > 有事に現れる企業のダイバーシティ経営の本音

[ダイバーシティ経営の基本・課題・副作用]

第9回 有事に現れる企業のダイバーシティ経営の本音

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲 氏 2016/11/10

ダイバーシティ | ワークライフバランス | 女性活躍推進
労務管理・福利厚生を整備したい | 従業員満足度を向上させたい | 社員のやる気を高めたい

ツイート いいね! 0 B! G+

有事や多様性に起因する対立葛藤を学びと成長の場とする

有事から何を学び、どう活かしていくかが、ダイバーシティ経営でも防災・BCP・危機管理の対応でも、企業が成長していくための重要な要素です。

筆者のダイバーシティ経営の指導においては、グループワークやペアワークなどで、人権・法令に配慮しながら本音で話し合い、相手との違いや良さを見出し、お互いにどう働きかけ合っていけば良いかという具体策を検討し、共有して頂いています。

これはコンフリクトを超えて、より良い状態に進むための基本的な3ステップ (①お互いの尊重、②多様性や自己との違いの認識、③違いを超えてどう向き合っていけば良いか問題解決のための対策検討) を踏まえてのことであり、筆者は「本音の対話・検討なくしてダイバーシティ経営なし」と思っています。

職場内不和・ハラスメント・人権侵害などの危機に強く、人にやさしい経営のためには、馴れ合いではなく成果をあげていく上での自己主張・権利主張とプロとしての協調性をもって、多様化する環境や求められる状況に適応していけるかどうか、真のダイバーシティ経営の成否を握っているのです。

また、筆者なりの造語ですが「防災ダイバーシティ」として、防災・事業継続・危機管理のあり方・対応法も多様化していくべきと考えています。

ダイバーシティ経営は、お金儲けや採用戦略などに限られた場面のみに問われるものではなく、多様に防災面などでもよりその真価が問われるものなのです。

関連リンク

・日本マネジメント総合研究所合同会社 企業情報

< 1 2

お気に入りに登録

このページはいかがでしたか？

役に立った (0) | 興味深い (0) | 面白い (1) | まあまあ (0)

会員登録 / ログイン

会員登録すると会員限定機能や各種特典がご利用いただけます。

新規会員登録

会員ログインの方はこちら

ID
PASS

ログイン

▶ パスワードを忘れた方

人気記事ランキング

- 1 「かたく」と「過重労働特別監督管理官」が始動する！
- 2 若手育成に「メンター制度」は本当に効いている？！
- 3 CS（顧客満足）よりも、ES（従業員満足）を！
- 4 瞬時に人を動かすリーダーに学ぶメッセージの伝え方
- 5 どんな相手も説得できる！交渉相手の「タイプ」別交渉法